

全国統一要求（抜粋）

- 1. 常用単価1日4万円以上実現
- 2. 碎石、砂利、砂、合材などの骨材運搬の収入も1日4万円以上に
- 3. 過積載復活させるな



建交労全国ダンプ部会

発行所

全日本建設交運一般労働組合

東京都新宿区百人町 4-7-2

電話 03(3360)8021

毎月25日発行
1部 50円

追い風の情勢を活かし 必ず単価を引き上げよう

結集強化

第2220回定期総会 組織33名参加

全ダンプ

全国ダンプ部会は、2月1日(日)～2日(月)に東京都内で第20回定期総会を開き、全国から22組織33名が参加しました。

一昨年から全国で建設工事の発注が増え、地域によっては追い風の情勢であり、単価改善のチャンスを迎えています。「東北、関東、東海、近畿」の各ブロックに結集し、使用促進競争に取り組んでいく支部では、着実に成果を広げています。総会では、全国ダンプ部会に結集し、経済闘争の推進と組織拡大の方針を確立しました。

開会あいさつで森谷総部会長は「設計労務単価が3年連続で引き上げられた。ダンプの単価を改善する経済闘争で奮闘しよう」と訴えました。

廣瀬警務局長が「経過と運動方針」を提案した後に、「消費税申告の注意点及び道路法・車両通行の制限」について山内健人副部会長の学習

会、埼玉北部支部が作成した「現場実態DVD」を上映し、全体討論をおこないました。

震災復興旧工事で、森林管理署発注工事への要請を実施している。宮城ダンプ支部の就労を追求する為、組合員訪問活動を実施している(岩手)、「過積載根絶を目指す」(岡山)で、マスコミにも取り上

げてもらい世論化した。生コン単価が引上げられ、4月からダンプの単価が上がる見通しだ(沖繩)、「使用促進競争を10年以上継続して力になった。昨年は1千台を超えた。財政確立に向けて自動車保険も増やした」(神奈川県)、「会社に常用単価の引き上げを要求し時給500円上がった。

今年も各支部で「税金相談会」を実施します。すでに「自

**確定申告
税金相談会に参加を
ていねいに対応します**

碎石単価も5千円の引き上げを実現した(秋田)など、2日間で延べ26名が発言しました。議案等の採択後、新役員体制を選出し、退任幹事(札幌、東北、東海、近畿)のあいさつ後、団結がんばろうで総会を終えました。

役員体制
部会長 森谷稔(福島)、副部会長 山内健人(栃木)、事務局 廣瀬肇(中央)、事務局次長 高橋英晴(神奈川)
全国幹事 昆茂太郎(岩手)、安井友紳(愛知)、立野正俊(北陸)、江田正(兵庫)、丸岡昭(徳島)、當間鉄平(沖縄)、監査 横坂英治(群馬)



ダンプの経済闘争に決起しようと檄を飛ばす森谷部会長 (2月1日東京都内)



税金相談会に参加した群馬ダンプ支部の仲間たち (2月15日群馬県内)

主計算書」を郵送等で自宅に送っています。組合では、諸経費の計算や記入の仕方などをアドバイスします。

次の物を用意して下さい。

① 昨年1年間の売上額、掛かった諸経費(ダンプ・乗用車ローン、燃料代・タイヤ・修理代等) ② 国民年金、生命保険(介護医療用も含む)、地震保険の支払い証明書 ③ 奥さんや同居家族が働いている場合の正確な収入額、④ 本人、同居家族の医療費(領収書・必要)、などです。平成24年の売上げが1千万円を超えている方は消費税を申告する必要があります。

また昨年4月から「消費税率8%」に引き上げられたことにより、消費税の申告をおこなう方は「5%と8%の区分集計」が必要になります。対象となる方は必ず事前に各事務所へ連絡して下さい。組合に未加入の仲間を誘って相談会に参加しましょう。



過積載・違法改造車両などの違法行為を一掃しよう

現場の粘り強い闘いが 発注者・元請を動かす

埼玉北部支部

過積載・違法改造を根絶 組合員の生活を守る運動

埼玉北部ダンプ支部は毎年、就労現場やその近辺の現場において、過積載や違法改造車をなくすための運動をしています。違法改造車はかさ上げされた分、積める事になり、過積載となってしまうので、違法改造車は無くさなければならぬのです。そのため、現場では就労する現場ごとに責任者を配置し、毎日現場で問題がないか確認しています。最近はかなり減りましたが、初めて受注した元請や特定の下請の現場が始まると過積載が起こります。そのため、過

積載や違法改造車が入りし、現場に行き、撮影しました。全国キャラバンに合わせた発注者要請や個別の懇談会に持ち寄り、改善を求めています。また、起こっている問題については、その都度現場で、現場の代理人に伝えて改善をさせています。そのような運動の繰り返しから北部支部で就労している国交省発注の現場では過積載や違法改造車の出入りが減少しています。

違法な実態が横行 告発DVDを作成

今年、関東ダンプ幹事会の議論を踏まえて写真ではなく動画に収めようということになり、DVDを作成しました。ドライブレコーダーでやるのも一つの手段ですが、その場合は現場で就労している仲間が後ろに付かないと撮影できないため、事務所と現場で

連携し、ビデオカメラを持ち現場に行き、撮影しました。国交省の利根川上流河川事務所以外の発注工事では過積載や違法改造車の出入りだけですが、同事務所の発注工事では河川敷内に運搬用の専用道を作ったため、速度超過が横行しています。専用道の制限速度は50キロですが、多くのダンプが10、15キロオーバーで走行しています。スピードを出す要因は全国的に共通する無理な回数をやらせる台引き常用です。そのため、事故も多発しています。

また、同現場で撮影していますが、昨年度よりアーキテクチャーダンプやクロラーダンプにいわゆる「重ダンプ」を使いだす請負者が現れました。重ダンプには通常の大型ダンプの2、3倍の荷物を積むことが出来ます。この重ダンプが現場で働くことを許すと、ダンプの仕事は無くなっ

てしまいます。一ヶ所の現場で許すと条件の合う各地の現場に広がる可能性があります。しかし、発注者側には次のような使用上の危険性を知らせ、現場での使用を控えるようにさせました。重ダンプの運転席が左側にあることから、現場ではダンプ同士がすれ違う際に接触事故を何回も起こしています。通常の大型ダンプにも危険が迫る事にもなります。この問題は関東ダンプとしても関東地整との懇談会で危険性を訴え、関東地整としてダンプと競合する現場や横断する現場では使用しないという見解を出しました。

この取り組みは労働組合からできる運動なので、ダンプの生活を良くするためにこれからも続けていきます。このDVDが欲しい方は中央へお問い合わせください。



建設労働者の賃金上げ、ゼネコンは内部留保をはき出せとアピール（2月13日東京・日比谷野音）

茨城ダンプ 県発注工事で白排除 即時に要請し解決へ

今年1月15日（木）に茨城ダンプ支部の組合員が、「明日から白ナンバーは現場に入れませんので山ズリ（埋め立て）積みできません」と、突然砕石山の配車係から言われ組合員他5、6名のダンプ労働者が配車をされず、

不当な首切り宣告になり、支部へ相談がありました。夕方に発注先の県港湾課に申し入れを実施しました。①事実を調査して今日中に首切りを撤回し、②仕事が出来ない期間、1日四三、二〇〇円を元請に支払うよう指導し、③

解決しない時は工事現場でストライキする、④茨城県知事から建交労を交通安全促進団体とし、公共工事で使用促進する文書回答がある。工事をする関係部署への指示を徹底せよと要請をしました。

翌日の朝、組合へ連絡が入り、仕事できますので現場へ働きにきてもらいたいとなり、首切りは一夜で解決しました。白排除を許さない立場で、相手側に運動の成果を説明し、理解させたことが要因です。

賃金単価 労務単価4.2%引き上げ 3年連続で待遇改善を実施

国土交通省は1月30日、毎年4月に改訂している公共工事設計労務単価を昨年と同じく2月から前倒しし、適用することを明らかにしました。新単価は全国平均で昨年比4.2%上昇しました。さらに東日本大震災の被災3県（岩手、宮城、福島）では6.3%上昇しました。2年前と比較すると全国が28.5%、被災3県では39.4%上昇しました。

国は3年連続で単価を引き上げ、ダンプや建設労働者の待遇改善に努めています。しかし、引き上げられた単価は労働者にきちんと支払われていません。現場で要求する運動なしには実現しません。追いつきのチャンスを活かし、単価改善の闘いに全国各地で決起することが求められています。

建設決起集会に3千人集う
賃上げの運動を広げよう
2月13日（金）、東京都内で「賃金上げと労働条件改善で若者が入職できる建設産業を作ろう」のスローガンで建設労働者春闘決起集会が開かれ、建交労を含めた首都圏の建設関連労働組合から三、三〇〇人が集まり、都内をデモ行進し、「公契約法制定で働くルールを確立しろ。ゼネコンは内部留保をはきだせ」などをアピールしました。

集会では建設首都圏共闘の窪田直彦議長が主催者あいさつし「黙っていて賃金が引き上げられるわけではない。全国津々浦々に運動を広げよう」と訴えました。

その他、日本共産党や各政党から連帯のあいさつを受け、千葉土建と国土交通労組の各代表が決意表明しました。